

消防だより

令和8年(2026年)
3月末現在の出動件数

有田川町消防本部	☎52・5950	火災	5件
吉備金屋消防署	☎52・5950	救急	334件
清水消防署	☎25・1243	救助	6件

令和8年度全国統一防火標語 「火の確認 いい日を支える いい習慣」

救急車が到着するまでに

消防では119番通報を受けた際、救急車が到着するまでの間、通報者や周りに居合わせた人に対して、応急手当ての協力をお願いすることがあります。協力内容は主に次のものがあります。

- **胸骨圧迫**／呼び掛けても反応がなく、呼吸をしていない、しているか分からないときに、胸の真ん中を強く速く絶え間なく押し続ける。
- **異物除去**／喉に物を詰まらせて、呼吸ができなくなってしまう人の肩甲骨の間を強く連続でたたく。
- **直接圧迫止血法**／怪我などにより出血が止まらないときに、出血しているところを清潔なタオルなどで強く押さえる。
- **冷却手当て**／やけどした部分を水道の流水などで冷やす。

緊急車両の通行にご協力を！

消防車や救急車などの緊急車両は、消火活動や傷病者の搬送など緊急の業務を行うため、道路交通法で道路の右側部分に車体の全部または一部をはみ出して通行することや、赤信号の交差点に進入できることなどの特例が認められています。緊急自動車により安全に通行するためには、一般車両の協力が不可欠です。助けを求める方の大切な財産や命を守るため、緊急車両がサイレンを鳴らして走行してきた場合は、慌てずに進路を譲っていただき、スムーズな緊急走行が行えるようご協力をお願いします。

最前線で輝く女性消防職員

火災や事故、災害から地域住民の命と安全を守る消防の仕事。多様化

が進む現場において女性消防職員の活躍は大変重要です。令和7年(2025年)1月1日現在、消防職員全体に占める女性の割合は全国で約3・6%、和歌山県で約2・8%となっており、今後も女性消防職員のさらなる活躍に向けた取り組みが必要とされています。

昨年、有田川町消防本部では、初となる女性消防職員が採用され、地域の安心・安全のため日々奮闘しています。まだまだ当本部の女性消防職員数は少ないですが、女性でも安心して勤務できる環境整備に努め、性別に関係なく活躍できる職場を目指していきます。



病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- **和歌山医療情報ネット**
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- **救急医療情報センター** ☎ 073-426-1199 (24時間対応)
- **こども救急相談ダイヤル**(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎ # 8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎ 073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

